羅臼町・今金町合同給食の日



12月15日、「羅臼町・今金町合同給食の日」が町内各小中学校にて行われました。

この給食は、町職員の人事交流をはじめ様々な取組で相互協力している羅臼町と、お互いの特産品を味わう事でさらなる交流を図る目的で実施されました。

給食にはちゃんちゃん汁が提供され、羅臼町からは鮭、今金町からは今金男しゃくが食材として使用されました。また、給食時間には羅臼町と今金町のPR動画が流され、お互いの町の理解を深めていました。

リングプル回収事業

12月４日、今金町社会福祉協議会へ１台の車いすが到着しました。

この車いすは、リングプルの回収累計量が規定重量の700キログラムに達した事により、交換で受け取ったものです。この事業を始めてから９台目となり、新しい車いすは貸出し用としてとしべつに置かれています。

700キログラムのリングプルが集まるまでに、約４年かかる計算となり、事業を主催する社会福祉協議会では「10台目の車いすを目指してご協力をお願いします」と呼び掛けています。



第 45 回スキー技術選手権大会

１月７日にピリカスキー場でスキー、スノーボード技術選手権大会函館地区予選会及びジュニア・マスターズスキー大会が開催されました。当日は65名の参加者があり、普段の練習で磨いた滑走技術を審査員にアピールしていました。

１月初めの道南地域は雪が少ない状況でしたが、ピリカスキー場は多くの雪にも恵まれ、当日は競技参加者や応援する仲間、家族連れで賑わいを見せていました。

スキー競技の上位の選手は1月末にルスツリゾートで北海道予選大会に出場され、そこで上位者となった選手は３月に長野県で開催の全日本技術選手権へと舞台を広げていきます。



今金町消防団出初式



１月６日、町民センターほか町内各所にて、今金町消防団出初式が行われました。

出初式には消防団員54名が参加し、消防団・消防車によるパレードや、消防団員による纏（まとい）振りが披露されました。

パレード終了後には町民センターにて式典が行われ、来賓（38名）が見守る中、中島町長よりあいさつ、山田悟消防団長による訓示、消防団員の勤続表彰が行われました。

「野球しようぜ！」大谷グローブ



メジャーリーグ ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手が、全国の小学校に贈ったグローブが、町内の各小学校に届けられ、１月18日に今金小学校、１月19日に種川小学校にて児童達に手渡されました。このグローブは大谷選手が次世代の野球人口増加を目指し、全国の小学校約２万校に計約６万個のジュニア用グローブを寄贈するものです。

今金小学校では、始業式に合わせてグローブがお披露目され、児童を代表した３名がグローブを受け取り、キャッチボールをして使いごこちを確かめました。

除雪への感謝カレンダー

１月18日、認定こども園いまかねのぱんだ組の園児たちが役場を訪れ、朝早くから除雪をしてくれている職員に「いつも除雪をしてくれてありがとうございます」と、手作りのカレンダーを手渡し感謝の気持ちを伝えました。

また、園児達からは「除雪車についているスコップは何に使うの？」や「なんで階段がついてるの？」といった質問がでて、職員は一つ一つ丁寧に答えていました。

職員からも「除雪車は後ろが見えないから、後ろにはいかなようにしてね」と注意喚起の話がありました。

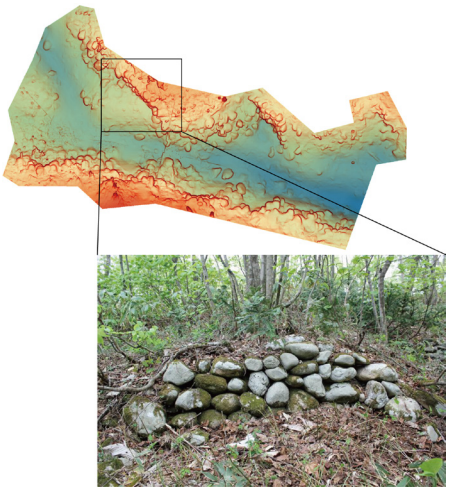


地域おこし協力隊　角谷、本田、矢原の『いまかね日誌』

こんにちは。地域おこし協力隊の矢原です。

北海道遺産にも選定された美利河の砂金採掘跡ですが、昨年12月に遺跡保護のため三次元レーザーによる測量調査をおこないました。美利河の砂金採掘跡は今から400年ほど昔の江戸時代の頃のものと考えられていて、大人数で砂金を採るために作り上げたいくつもの水路と石垣が残されています。今回、水路の一つにレーザー測量をおこなったところ、水路に対して一定の角度で斜めに仕上げた石垣や、積んでいた石が崩れたであろう箇所をはっきりと確認することができました。

このような斜めの石垣は美利河の砂金採掘跡以外では報告された例が無く、なんのためにこのように仕上げたのかは謎に包まれています。美利河の砂金採掘跡はおよそ3万㎡と非常に大きな遺跡で、今回の調査では100㎡までしか調査ができませんでしたが、三次元レーザーによる測量は今までの調査よりも少人数かつ非常に安価におこなうことができるため、今後も継続的な調査を続けていく予定です。



InstagramのID→@pirikasite（地域おこし協力隊　矢原）